

話題3：「地域気象情報による産業および住民生活支援」（資料-5）

日本気象協会北海道支社情報事業課 大島 巖

【講師：大島】 気象協会が開発して提供している農業用の情報システム「てん蔵」の仕組みを元にして初山別村の生活支援等にどう活用できるのかを説明します。



てん蔵のメニュー概要

てん蔵は農業者個人のID、アドレスによる個人の情報ポータルサイトであり、農家のみなさん、農協、改良普及センター等で共有利用することにより、必要情報の共有が可能になり広範囲なコミュニケーションを取ることができます。予報、観測データ等多くのメニューがありますが、農家のみなさん一人ひとりのカレンダー形式の情報データベースが利用できます。毎日の作業内容を記録する、あるいは過去の同日の情報を確認するなど作業日誌的に利用でき、たとえば過去5年の同日の天気、観測データを一覧ですぐに見ることが可能です。また、お知らせ機能で必要な情報を必要な人に周知・連絡するなど従来の天気サイトとはまったく違う仕組みになっています。パソコンと同じ情報・仕組みを携帯端末で同じように利用できる形にしています。

生活支援への転化

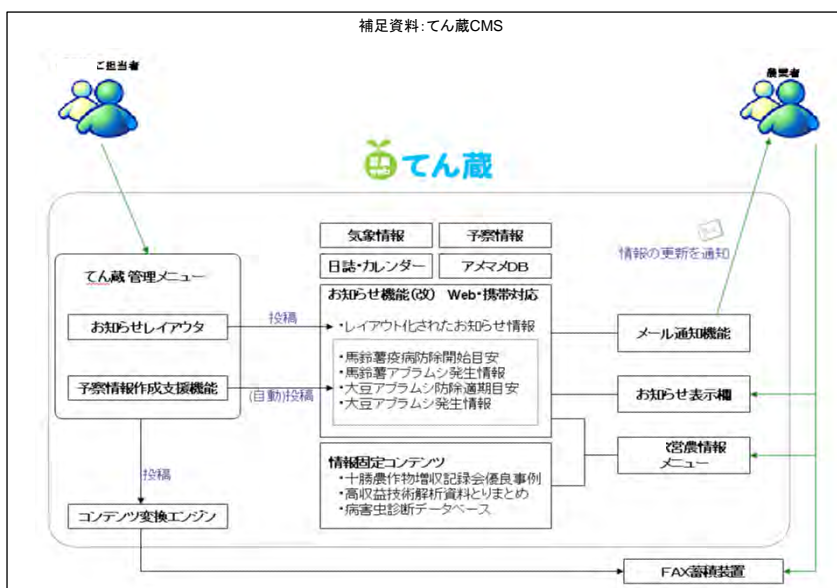
てん蔵のメニューに必要なリンクボタン等を付けると、農業以外の情報対応を簡単にできるようになり、生活支援・産業支援等が可能になります。たとえば、波の予測情報を付加すると漁業向けの情報利用ができます。また北海道の土砂災害サイトにリンクして

災害関連情報を入手する、あるいは役場からのお知らせ・行政情報を載せるなど、広範囲の利用対応が可能です。てん蔵のメニューで話したとおり、パソコンと同じように携帯端末でも利用できるようにしてありますので、緊急時対応も簡単に取れます。緊急時は机に座って仕事をするより現場確認等で外に出ることが多いと思いますが、そうしたときに現場で携帯を使ってパソコンと同じ情報や仕組みを利用できます。

時間がないのでまとめますと、てん蔵の営農支援システムの中身を取り替えてしまうと、初山別村行政システムやさまざまなシステムに応用可能であることを、いくつかの提案を含めて説明させていただきました。

(気象協会のサーバーに仮作成した初山別村向けサイトを、会場に設置されているFonルーターに接続してWi-Fi環境で実作動させて表示。細野氏のipad接続および大島氏のサーバー接続ともに Wi-Fi 環境の基幹となっている回線はADSLですが、速度的にも問題なく接続されていることが確認できました。なお、気象協会「てん蔵」は資料-5を参照してください。)

(つぎに、ソフトバンクテレコムを代行して(株)恵和ビジネスの志田取締役から、モバイル活用による過疎地域支援と題する話題が提供されました。)

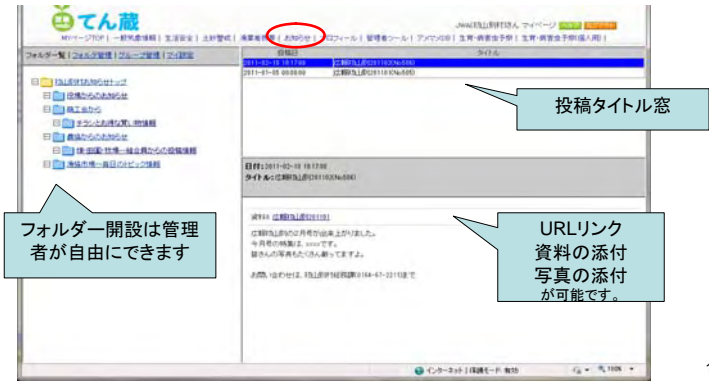


お知らせ

てん蔵の主力機能

通常のお知らせ
部門別にフォルダーを自由に構成
閲覧のみ---住民全員、農協・漁協組合員限定
住民が自由に投稿できるフォルダーも可能

使い方は無限に！



生活安全情報 (MICOsonMobile)

情報発表の通知はメールで==即時性の確保

注警報情報

地震情報

津波情報

レーダ/メッシュ

土砂災害警戒情報

漁業者向け波浪情報

漁業のための情報
・沖合いの波浪情報
・海水温分布状況
・天気図
・レーダー情報
(その他基本情報)

漁業情報

波浪情報

天気図